

# 実習施設に関する調書

(記入例)

実習施設名	〇〇法人 〇〇会 〇〇〇〇病院 <u>*正式名をご記入下さい。</u>	
病床数 (又は入所定員)	一般病棟 100 床	回復期リハビリテーション病棟 50 床
最近の患者数	6000 人 <u>*言語聴覚療法を受けた1年間の患者延数をご記入下さい。</u>	
実習生受入状況 (平成28年度)	養成施設名	年間受入延人数(実数)
	高知リハビリテーション学院	1 ( 1 )
	〇〇医療学院	2 ( 1 )
	〇〇〇〇大学 言語療法学科	2 ( 1 )
		( )
指定規則に定める設備	訓練室×2 簡易聴力検査スクリーニング検査機器 ×1 音声録音装置 ビデオ録画システム×2 言語・心理・認知機能検査機器・用具×10 発声発語検査機器・用具×20 各種診断・治療材料(絵カード等)×10	

別紙参照と記載して、指定規則に定める設備一覧表等を添付して頂ければ記載の必要なし。

## \* 記入における注意事項

1. 「病床数」については病床種別に記載ください。
2. 「最近の患者数」の欄については、最近1年間(申請書提出時の前年度)の言語聴覚療法を受けた患者延数をご記入ください(おおよその人数でかまいません)。
3. 「実習受入状況」の欄は、申請時の前年度(平成28年度)における当該実習施設の年間の受入養成施設名及び受入延人数(実数)をご記入下さい。例えば同じ実習生がⅠ期・Ⅱ期とも実習を受けた場合、受入延人数は2、実数は1となります。また、5校以上の養成施設を受け入れている場合は、欄外に記入、または別表を作成してください。
4. 「指定規則に定める設備」の欄は、当該実習施設における実習用設備について、その名称及び台数をご記入ください。
5. 調書で誤りをご記入され、訂正される場合は訂正印には病院印を用いて下さい。